

東北日日新聞

本報社址 仙台市大町二丁目
電話 二二二二
代印所 仙台市大町二丁目
電話 二二二二
支店 盛岡市大町二丁目
電話 二二二二
支店 秋田市大町二丁目
電話 二二二二
支店 岩手県盛岡市大町二丁目
電話 二二二二

磐銀更生策の 具体案を協議

更に八月末まで休業

二一七日株主總會の結果

休業中の平町警備銀行では儘となつてゐるが之れが略去と二十七日株主總會を開き百七銀行の閉業に全き第六十九期決算について力をこめていた関係も協議を重ね終つて重役會をつたので十七が閉業した今ひらき七月末までの休業期日では磐銀の閉業に努力の間が終るので八月三十一日をもつと重役の努力まで休業を延期することに相まつて磐銀の更生も決定をなし同日の整理案は具體化するものと觀られ車役連の奔走甲斐なくそのてゐる

會社側の誠意に 全山すこぶる平穩

解雇従業員に對して けふ手當金の交付を開始

昨報一警備村三井炭礦が廢業中であつた山發表後伊藤礦業所長は來山中の藤岡重役及び幹部連と解雇手當、旅費慰勞金支給方法を協議の結果同日午後三時半に至り従業員には勤続年數に應じて總額五萬餘圓を支給する事になつたが内労働者は右の内規によつて支給され三十一日より解雇者に支給を開始され會社側の熱情溢れる誠意に像思の騒ぎもなく全山頗る

- 一、退職手當左の内規により支給す
- 二、解雇手當法規に基き二週間以内に支給する事
- 三、八月十五日までに退山する事
- 四、五圓以内の旅費は全額直ちに支給五圓以上は五圓を支拂ひ残金は役場の證明により歸郷後支拂ふ
- 五、二十六日から三十日

一本齒で 見事登山

富士の頂上を極む 平機關庫員石城郡草野村坂本三四三君

迄休山手當を支給す
獨身者一日四十五錢
夫婦者六十錢家族ありもの同九十錢
六、荷造用繩コモなどを給す
七、共濟會殘金は勤続年數によりあふ分す
八、保險部殘金(約一萬圓)は政府に引つ

登山を試みるため去る二十日午後六時十五分富士山麓のふよう閣を發し一本齒で見事登山同午後六時五分無事頂上を極めた、所要時間十一時間五十分で前年竹馬で登山した花澤君より約一時間早かつた、同君は十九日朝歸平した

ドソ底の農村 救濟具体策

道府縣農會會議の決議 きのふ政府へ陳情

道府縣農會會議第二日は三十日午前八時より午後二時まで既報の協議案につき委員會を開いて熟議をこなし結果同二時より直ちに本會議をひらき左の決議を行つた後これをたづさへて内務大臣、農林大臣を訪ね陳情したが三十一日は首相蔵相各政黨本部に陳情の豫定である

自動車 追突

被害者より告訴 中町新町四十三号子自動車

現下農村不況は深刻その極に達しその苦惱悲慘の實情真に想像の外にあり部運轉手鈴木直治は南町芹もしこれ今において急速深自動車運轉手鈴木直治にこれが對策を講じ救濟(二〇)を相手に器物棄毀の方面を断行するにあら告訴を提起したがその内容を漁つたが幸ひめばしい物た處を捕へ目下取調中である

不況の深刻化に 平町の質屋が繁昌

悲惨な無産階級者が 生きたる爲に恥を忍ぶ質草

平町における質屋は約十軒一圓、二圓が關の山である近頃あるが最近の入質状況と云ふ恥を忍び質草を無理は一日平均四十件より三十算段して持つて來て一切の件位で悲惨なものがそれのパン、一個の菓子にも價の繁昌を呈してゐるこれに五錢十錢の僅かな金とも先頃から見れば半減しを借りなければならぬ事情であるなど不思議な現象をに家庭がザラにあるの呈してゐる之れは明日食ふだから驚かざるを得ない持米がない無産階級の質草はつて來る質草はいくら質屋永々の不況から最早や殆んど同情して積つても五錢ど盡き果て、來た證據で然か十錢以上を出せない品物も入質したら最後利子を拂だからいかに深刻なものだひ込む者などは約一割位しか想像がつくわけ、尙ほ質に過ぎずざん／＼流しての屋の方でも激増する一方の農會長は慎重審議の上左記對策を得たるをもつて政府に要望すべき事項の實現を期するはもちろん各級農會協力一致現状打あり平均約五十錢大きくて破に猛進せんとす

上遠野村で 白晝土藏を破らる

遊興費に詰つた不良青年

石城郡上遠野村同字下山田が夕刻發見届出により植田農駒峰かね方の土藏を廿八署で犯人捜索中の處同郡勿日然も白晝何者にか鋭利な來町日屋業鶴之長男藤田鎌を以て三尺四方を切り忍菜一(二二)と所爲と判り廿二階タンスの錠り金品九日夕刻自宅に潜伏してゐる漁つたが幸ひめばしい物た處を捕へ目下取調中である



世態 雜相

支那長沙の共産軍は、外人財産破壊を宣して、計劃的暴動を爲すに到つた、避難邦人ぞく／＼漢口へ逃げつゝあるが、重大化するおそれがあるの外務省が事態を重視してゐる。

さらながら強こう外交にあらざるは、到底だめ。

ロンドン條約が、樞府の下審査にひつかつてゐるが、あと二日で終了の海のものとも、山のものともさまざぬ丈に政府の心配なこと萬々。

残し、民政黨内閣に最少しやらせてみるべきこと。

國民への公約を果すべき爲めにも、誰れにもこの現局を收拾することはできません。

大英雄の出現するにあらすはだ。

小さな鉛玉のついた風船を仕込んだ還層りう弾を高射砲で飛行機をうつとやす／＼と生捕ることが出来る。

柔よく剛を制するの方法とは考へたものさ。

一世をおどろかした説教強盜の松吉さん。

明もつて、いろ／＼の強盜哲學と、忍術應用に關して話した。

しばられてゐても、相變らず説教してゐる。

面黒い奴。

あれも、人生における一つの實在である。

ますの漸密輸入事件の首謀白川友一が、大連法院において審理中のところ

この等、三萬圓で保釋されたか、こんな種類の犯人は不正財産と認知して沒收、無産階級者しくは大學研究費にでもあつた新法を案出してはどうか斬り捨ゴメンの稱ある新法もありそうだぞ。

打續く不景氣で、小工場が賃銀未拂からの労働者自身に工場管理が、べらぼうに多くなつた。

然も、皮肉なことには不徳義な工場主の如き者よりも、正直でプロ意識の労働者の方が、取引上から信用がでる、取引上の判りよく、現在では好成績をあげつゝある。

どういた、資本家必ずしも經營者ぢやないだらう

三井礦の廢山は、警備村當局のうらばいととなり、出入商人の憂慮となり失業業者實に千數百人を算するであらう。

現金制度同様の三井取引であつたのが、本郡への打撃なかに大きい。

石城郡の有識者は、奮起して失業者救濟への急務を援助すべきである。

殊に三百五十人の鮮人労働者を救濟せよ。

平陽女學校が、銅像建設の、それも校長、寄附金をもらひ、本年度卒業生からは金二圓宛義務的に集め、さてその銅像はさうなつた。

臺石のみの銅像ではなからうなど、噂さするものもある。

金圓を一般寄附まで仰いで建設しやうとしたのであるから貰つた金で、直ぐにも建設して世の誤解を取消して然るべきだ。

體運 関内藥局
寒暖計 電四〇番

平から平へ

北上の航走

金華山から松島へ

短かい夏の旅

ア キ ラ

朝の空は、まったく晴れて、どころくから美しい空の肌がのぞいてゐる。悪口の投げあいも、くたびれたのか、小名濱消防組の猛襲に弱つたのかともかく、喧嘩の一幕がすんだ。

ごとく船が動き始めると、みんなの眼が一齊に海上にうかんでゐる北上の雄姿にひきつけられる。波のうねりもおだやかにたがごとく濁つた音をたてて走し、ふりかへれば小名濱港の白い、赤い残灯が、薄白く煙つてゐる街に、点々としてみへる。

北上のびん側へ着いて直ちにのり込む。門に捧げ銃の歩哨に敬禮して、便乗券を渡してから後甲板へ集合する。

白の作業服の水兵さん達が、一行のために甲板を洗つてくれる。

腰かけを運んでくれる。天まくを張つてくれる。士官がいゝの便乗者に注意を與へてから所属部隊を編成する。

關係町村から三十名宛のハンをつくり、下士官がハン長となつて艦内説明

に就いてくれた。

左舷海上から殘部のびん乗者を見送つて、消防組員が來てゐる。

出發の五時、正確に報するならば、七月二十三日午前五時となつた。

二等巡洋艦五千二百餘トン北上が、するくと海をすべつて行く。

六時、後甲板にゐる一行に脱帽の令下る。

衛兵と、當直士官等の最敬禮裡に、旭日の白地に赤の軍艦旗が、掲揚されるに到つた。

海軍々樂隊が、壯烈なマーチを吹奏する。

望遠鏡を眼にあて、大陸上が見られぬ、海洋の波をすべつて、一路……

北上は航走する。

その中にハン長の案内をうけて、平町二十餘名がいろ／＼の説明を聞く。水雷の話、砲術上の話、士官、艦上の責任上の話、戦時の話、水兵生活の話、それからそれへと、無限のびて行く、興味のつきぬ話話話、めん／＼と續いた。

(續)

暑中御伺ひ申上候

海水浴旅館新築御披露の爲め當分宿泊料壹割引仕り候年中鹽湯無休入浴隨意

席料 階上 金貳十錢 階下 金拾錢

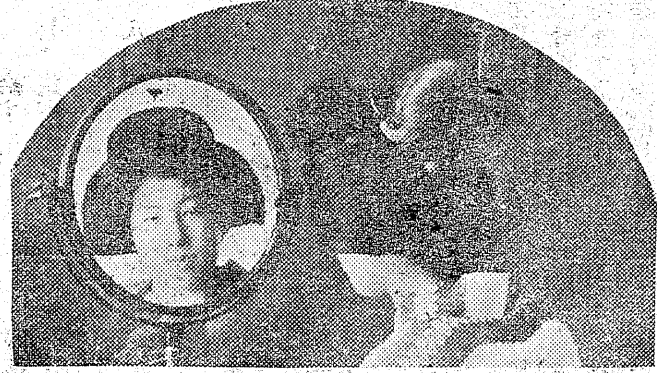
但し小人半額

御料理、御辨當は速席調理致します團體は特に大勉強引す

吉田屋 小名濱ホテル

電話十四番

別館 電話五十六番



涼しい丸まげ モデルハ

平町新田町 三島家の照子さん

此の丸髪は夏向きの極く軽い洗髪のみ、湯水を用いすすき毛を蓄げ形に造り置いて舊式の形やかもちは用いす誠に經濟の妙ひ方で若奥様向きの結方を私が新考案致しました

平町新田町 吉田美容院

高久病院

電話五一三番

内科、小兒科 醫學士 高久一忠

外科、花柳病科 醫學士 赤羽清

耳鼻咽喉科 新瀉醫學士 佐竹菊雄

レントゲン科 藥劑士 佐竹菊雄

おせん 小料理 板そば 氷水 ソダ水 ミツ豆

西村 通人 食巻 梅 糖丁

撮影の最新は光採の應用を藝術的……

専門肖像写真館

中島寫真館

……てに法光採の特製鏡は影撮間夜んせまりあり變と影撮間晝……

正確な検査 無料検眼

町田平店計時本根 番七六話電部鏡眼本根

専門内科一般

内科ハ側テモ診療致シマス 呼吸器病バカリデアアリマセン

平町南町六五

川井内科診療所

電話七二二番

醫學士 川井重之 女醫 川井安子

時代の尖端藥局現る!!!

一、物々交換相始メ候 同なり特參して仁丹化粧品ビール ナイダー其他交換可也

、少ない子供て樂に暮らませう 産兒制薬、母やぐれり相談

衛生試驗開始

檢便金十五錢檢尿一種金二十錢其他水 酒、水、醬油、牛乳等

平町三丁目郵便局前

宇佐美藥局

電話一六六番

★開店の爲め★

印ムゴ 本日より何ふ十日間安くて 耐久力ある鑄造ゴム印 左記の値段にて下命 應じます

所判 一ヶ 金五十錢より

仕切判 一ヶ 金六十錢より

帳簿用 一ヶ 金十錢より

平町 四丁目

ゴム印鑄造及彫刻 木版彫刻及諸印章 名刺はがき活版印刷 其他製本

加藤一龍堂 堂主 宇佐美友二郎 電話一六六番

ラヂウム温冬器

胃腸病の必治法

二貫や三貫らくく肥る世界的健康法

特治 福島縣平町五丁目二八 志賀科醫院

約療 福島縣平町白銀町九 産婆 關口悦子

販賣部

温灸治療法三百三十頁の美本無代進呈